

#### 第4回 魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会 議事録

日時：平成31年2月15日（金）午後1時40分～午後3時20分

場所：魚津市役所 4階 第一委員会室

開会 挨拶（産業建設部長）

報告事項 意見なし

協議事項（1）駅周辺のまちづくり構想案について

会長）本日は、委員皆様から忌憚りの無いご意見を頂き、前向きな議論を進めて頂ければと思いますので、皆様宜しくお願い致します。それでは協議事項（1）について事務局より説明をお願いします。

資料説明

事務局補足）立地適正化計画については、現在、本協議会と並行して策定中です。この計画について簡単に申しますと、魚津市の課題を抽出し分析してどの様なまちづくりを目指すのか、そして市が抱える課題をどの様に解決するのか等の施策を検討しながら課題解決に必要な都市機能は何か、それをどう中心地に誘導させるか、交通ネットワークの充実等についても検討して将来の魚津市の持続可能なまちづくり形成を目標とした計画です。本協議会でも、まちづくりの方向性を示させて頂いており、両計画の方向性を整合させたいと考えますので、立地適正化計画の方針等が提示できるようになりましたら、本協議会にも提示させて頂き、議論をして頂きたいと考えております。

会長）資料2と補足で立地適正化計画との関係についても説明を頂きました。駅周辺に賑わいを生み出す方向と、景観が豊かなので美しい景観を活かしながらまちづくりを進めるといった方向になるかと思われませんが、これについて皆様からご質問やご意見を頂きたいと思えます。

会長）柿の木割という飲食街の名前は、定着している名前なのでしょうか。

委員等）そこまでは定着していない。

会長) この資料でいう所の飲食交流エリアについてですが、ここは賑わいを生み出せる可能性のある非常に良い所だと思います。こういった場所の賑わいを生み出していくために重要なのはネーミングです。名前を言えば皆がその場所を指している事がわかるようなネーミングがある事で、魅力的なお店があるとイメージ出来るので人が集まり、人が集まってくるとまた魅力的なお店が出来てくるといった好循環が生み出されます。柿の木割がもし既に市民の中で定着している名前であれば、もっとPRする事で、市外の方も今日は魚津の柿の木割に飲みに行こうとなり、富山から電車で30分程なので、魅力的なお店があれば幾らでも来て貰えます。そこまで定着していないネーミングであれば奨励し、又は新しいネーミングを皆で考えるなどしていくのも良いと思います。富山県全体を見ても魅力的な飲食店街の一つだと思いますので、これについても検討しても良いのではと感じました。

委員等) 富山県の三大飲食街は富山市の桜木町、高岡市の桐の木町、魚津市の柿の木割として、樹木名が揃っているのが覚えやすいとも言われています。

委員等) 魚津の飲食店がもっと元気になって欲しいと願います。そのためにも、例えばバイ飯の宣伝だけ先行させていざ休日に食べたくても食べられないという事が無い様、受け皿を用意してから宣伝するといった体制を整えて欲しい。魚津と言えば食なので、頑張って頂きたい。

会長) 観光客を呼ぶために食という物は非常に大きな要素で、大切な事だと思います。高校生が多いと資料にも記載がありますが、この点も町の賑わいに大きく関わってくる事だと思います。実際、魚津は高校生の流入率(人口に対する高校生の流入割合)は富山県内で一番大きく、魚津に住んで他の市町へ行かれる高校生の方々もこの魚津駅を毎日利用して移動されますので、市外から魚津へ来られる高校生も含めて、皆さん毎日この魚津駅を通過しています。この事からも若い人たちが集えて楽しめるような物を作っていくと、賑わいも生まれていくのではないかと思います。他にご意見など無いようでしたら協議事項の(2)と関連性が高い(3)について、続けて事務局より説明をお願いします。

資料説明

事務局補足) 6つの駅整備各案については、今後のスケジュールを考慮しますと、本日の協議会で絞り込みを行う必要がございます。委員の皆様には案の良し悪しを議論頂いた上で選択して頂けるように意見を頂きたいと存じます。

会長) どなたからでも結構ですので、ご意見を頂きたいと存じます。

委員等) 構内踏切とはいえ、人が集まる所に踏切を作るのは施設の安全性やリスクを考えると賛成しかねますので、踏切は作らない案で進めて頂きたい。

委員等) 市の財政が破たんするような夢の構想を描いても駄目といった意見もありますが、夢も無い現実的な事ばかりでも良くないという思いから、魚津駅は魚津市の顔にして欲しい事と、まちづくりの拠点としての魚津駅周辺、最後には安心安全の3点をコンセプトに実現して頂きたい。国の補助金も活用しながら、私共の思いに近いのは案1ではないかと思えます。夢ですが、魚津駅・新魚津駅の将来利用数が5千人から1万人に増えるとした場合、テナントが入っている自由通路をもっと広げる可能性もある。それから、従来計画案のように線路を寄せる。費用が嵩むかもしれませんが、何年かかっても良いので、魚津市民に夢を与える方向性の計画で進めて頂きたい。時間をかけてでも夢のある内容を考えて頂きたい。また、どの案にも展望デッキが記載してありますが、県外から来られた方には富山湾と立山連邦の山並みも一望できる4階建て程の展望デッキがあれば良いと思えます。最後に、魚津駅・新魚津駅は高校生の利用数が非常に多いという事から、高校生が読書・自習・くつろげる場所があれば高校帰りの学生で賑わい、大人達も利用する事で観光客にも何て賑やかな魚津駅なのだろうと思って頂けるのではないかと思います。

会長) ありがとうございます。委員の皆様全員からお話を頂きたいと思えます。

委員等) 案1は良いと思えますが、複合施設に関しては反対です。今の駅前には空き家が多く、店舗も相当少なくなっています。人出不足の問題もありますが、果たして複合施設のお店が営業していけるのか懸念します。それならばまだ、老朽化している市役所の建て直しがここで出来れば施設が集約され、そうすると自習室やカフェ等も出来るかもしれない。複合

施設の中にシニア体操等を設けるといった記載がありますが、ありそドームやスクール、公民館でもしていらっしゃる様な事であれば必要ないのではと思います。フラット化は危険ですし、遮断機もあり、積雪の事も考えると不便だと思います。朝夕の「時間が無い時」に遮断機で待たないといけないのは利便性に欠けるので有り得ないと思います。私は最初、自由通路だけでいいと思っていましたが、今はこれも有り得ないと思います。案1の付加価値を、複合施設やテナントに求めるのではなく、市役所や図書館を併設する方向で、資金と施設集約が出来れば良いと思います。

委員等) 案1と案5の場合は、あいの風さんで富山に行こうと思うと、駅舎に入ると目の前に富山行きの列車がいても、自由通路の上にある改札を通るために、階段を上って下りしなければいけないので、利用者にとっては使い難い駅舎になるかと思いますが、本当にこれで良いのかなと疑問に思います。

会長) ありがとうございます。あいの風さんの1番線利用動線について、上り下りしなければいけないのは1案と2案と5案かと思われます。

委員等) 鉄道事業者の観点から、お客様の安全性を第一に、それからお客様の利便性、更には実現可能性という観点から申し上げたいと思います。案3と案4は、安全面の観点から賛成しかねます。案1は、費用対効果が非常に低いという事から、実現可能性に問題があるという気がします。案5は、あいの風1番線を利用する際に上り下りしないといけない不便さがある事と、自由通路という観点では、魚津駅には地下道がありますので、それ程の必要性があるのか疑問があるという事、それから国の補助メニューが記載無いという事で財源が不明という事がございます。従来計画案は、費用対効果が明確になっていません。残りの案2について、あいの風1番線が改札を通過してそのまま乗れますし、跨線橋が延伸されますと、あいの風のお客様が地鉄さんに乗り換える場合や、駅西側に出る場合について、現状では地下道を利用していることからすると、移動距離が短縮されて利便性が高まるものと思われます。また、「魚津駅現状維持の場合」は基本案より事業費も小さく、費用対効果もある事からすると、提示されている案の中では、案2の「魚津駅現状維持の場合」が良いと思います。ただし課題もございまして、この絵を見る限り、西側と東側にそれぞれ改札がありますが、2つの鉄道事業者が跨線橋を共用

することから跨線橋の上にも改札が必要ではないかという点がござい  
ます。それから、地下道から貨物敷地を利用した広場へのアクセスが可能  
ですが、そのまま鉄道を利用されますと、不正乗車という事にもなりか  
ねませんので、この対策も必要になると思います。

委員等) 交通運送事業につきましては、安全性確保が事業の根幹でもあります。  
鉄道事業者さんから安全面の観点から踏切というのはどうなのかという  
お話もございましたので、日々の安全を守っておられる事業者の方々  
のご意見を尊重して頂きたいと思います。また、費用対効果についても、  
県としても考慮することになりますし、国の方も厳しく確認されますの  
で、充分配慮してご検討頂ければと思います。

委員等) 駅舎と市役所の併設を夢見ていましたが、駅単体では費用対効果も無  
く、民間開発の声も聞かないので、現実的な事を考えると駅の整備は無  
理かなと思います。それと、貨物敷地については、今、広場を作る必要  
は無と思います。将来的には用地を取得しなければいけないので今の内  
に取得するだけしておき、将来どの様にでも利用可能な状態で残したま  
ま、跨線橋の延伸整備だけして駅舎は触らない。西口と東口の充実をま  
ず図る。柿の木割や駅前駐車場の整備などに力を入れた方が、現在の魚  
津市の情勢としては良いのではないかと。現実的な事ばかりでは夢が無  
くて駄目だという話もありますので、今ここでお金のかかる方向に決め  
てしまうのではなく、今出来るベストな対策をした上で、将来的には夢  
のある物が出来る内容の計画作りが良いのではないかと思います。

委員等) 最初はバリアフリー化されたら良いと考えていましたが、最近  
はピタもパローも空いているテナントが目立ちます。ファボーレやイ  
オンの様に沢山のお店が入っていればお客さんも多いのですが、数  
店舗だけの複合施設であれば、この線路広場には作らない方が良  
いと思います。まだ駅前の違う所や市役所の建替えに力を入れた  
方が、そこにお客さんが来て、色々な物が出来てくる発展性がある  
と思います。どちらかと言えば従来計画案が、駅西側に駐車ス  
ペースがあり、観光バスも停まりますので、観光面からは大きい  
駐車場を整備して頂いた方が嬉しいです。

委員等) 私も駅の利用者を増やす事に力を入れる方が先だと思います。  
質問ですが、資料に記載の概算事業費について、国庫補助金が入る  
前か後かが分からないという事と、維持管理費は鉄道会社さんの負  
担と市民の税金

の負担割合がどれ位なのか、市民割合が高いのは考えものですし、鉄道会社さんが負担されるのであれば、賑わいだけでなく利用者の増加も考えなければいけませんので、資料から読めない部分について教えて下さい。また、費用対効果が低いのは利用者便益の方が低い為で、駅利用者以外にも、広場整備後に増える広場利用者について考慮すると街の賑わい創出面へのプラス効果があるかと思います。そういった事からも費用対効果をあまり単純化しすぎない方が良いと思います。それから両駅前広場について、歩行者スペース確保を優先しているので車の駐車場が少ないと感じました。魚津市は車の利用者が多いので、広場に来る時に駐車場が一体何台くらい停められるのか、例えば柿の木割に行く際に、近くて便利なので市役所の駐車場に停めて飲みに出られる方も多く、これが飲酒運転の減少にも貢献しているとも思いますので、利用が増える事を考えて、店舗を利用しない場合は駐車料金を払う形でも良いので、もう少し駐車場を多く計画しても良いのではないかと思います。現実的に駅の利用者以外の市民の利用が無いと、商業施設は難しいと思います。

会長) 今ほどの質問に答えられればと思います。整備費は補助金を入れる前の額なのか後の額なのかというご質問と、維持管理費の負担者は誰になるのかという事について、事務局お願いします。

事務局) 概算事業費は全体事業費を記載しています。例えば補助率 50%である場合は、市は残りの 50%分の負担になります。維持管理費については、例えばエレベーターや跨線橋を設置した場合、どちらが管理者になるか協議した上で決まりますので、今はどちらが幾らの負担という事は言いかねます。基本的には駅の施設であれば鉄道事業者さんの管理で、一般利用される公共側スペースでのエレベーター等の設置であれば市の負担になるかと思っています。

委員等) 案2と従来計画案の事業費は、ほぼ同程度だと思います。元々この従来計画案は事業費が嵩みあまり良くないという事で見直しを進める事になったのだと理解していますが、市の財政が非常に厳しい時に、市は幾らまで負担出来て、いつ迄にこれを実現させるといった条件があるのかお聞きしたいと思います。

委員等) 市の財政、お金の話になりますと、今非常に厳しいというのは確かでございますが、この事業に関して一時に全部のお金を用意しなければいけないかという、そうでは無いと思います。国の補助金もありますし、借入れと言う事で負担を後年度に廻すという方法もあります。ただ後年度に負担を先送りするものなかなか厳しい状況にもありますので、市としては現時点では出来る限り費用負担は減らしたいという思いは当然持っております。直ぐに取り掛かれるかというお話につきまして、着手のタイミングについても今直ぐに取り掛かれるかと言いますと、難しいのではないかと考えております。

委員等) 今日の会議で案を絞り込みたいという事ですが、実現の見込みがまだ無いのであれば、慌てずに進めても良いのではないのでしょうか。

委員等) 先ずは駅に人が集まる方向性を考えた方が良いのではという意見も先ほどからございますし、私もその様に思っており、市役所等の公共施設や人が集まる施設を駅の周辺に集約する事を目指して、魚津市では立地適正化計画を策定中です。この計画等により、人の流れを駅の方へ向けるという事をまず進めて行くべきなのかなという気はしております。それに合わせてどの様な駅が良いのか、最終的には立地適正化計画とも併せて協議会で考えて頂いているまちづくりを見ていく事になるかと思えます。鉄道事業者のご意見からも、案3と案4は現時点では非常に困難という状況が伺え、案2が費用対効果もあり良い事から直ぐに事業着手という事も考えられますけれども、もっとそこに人が集まってくる手法を見つけ出してからでも良く、むしろ急ぐべきは周辺活力の向上なのかなとは思っております。

委員等) 従来計画案は元々事業費が非常に大きいという事でしたが、他の案と比較するとそこまで高くないのではと思います。1案から4案の広場整備は誰をターゲットにしているのか、前回の協議会の中でもそのようなご意見が出ていました。どの様な方を対象にするのか決めないと、作った後で賑わいが出なかった恐れも充分考えられます。それから、この計画は何をするにしても鉄道事業者さんのご理解が無いと実現しないという事を強く感じますので、鉄道事業者さんとの協議がどの程度具体的になされているのか、個別に協議しないと実現は難しいと感じました。

委員等) これまでのご議論の中で案3と案4、いわゆる踏切の話がありましたので補足説明をさせていただきます。一般的に俗称として使っています構内踏切と踏切道とは整理が異なります。踏切道というのは、鉄道と道路の交差部を指し、法令で鉄道と道路は平面交差してはならないと定められており、但し書きで、一定の状況を満たせば安全施設を施して踏切を設けても良い整理になっております。交通安全基本法に基づいて定められた各県の交通安全基本計画に即して、踏切事故の無い社会を目指して踏切道の立体交差化や、踏切道の統廃合を道路管理者さんと一緒に進めておりますので、そういう観点からも私共は踏切を増やす立場に無い事を申し上げておきます。魚津駅・新魚津駅につきましては、移動量と交通量共に充分あり、地下道により立体交差もされている為、新たに踏切を作る事には疑問があります。それから構内踏切につきましては、駅施設の中の移動通路に於いてレールを跨いで移動する場合の安全施設として踏切を作ったものを俗称として構内踏切としております。法令上特段の決め事は無く、北陸信越運輸局管内にも構内踏切で駅構内を移動する駅はございます。この為、一律に否定するものではありませんが、やはり旅客用通路という事で、この構内の安全性を保つのは鉄道事業者さんになり、事業者さんとしては非常に重大な責務があると私は思っております。以上より、国として慎重な判断が求められると思います。

会長) ありがとうございます。各委員の皆様からそれぞれご意見を頂きました。事務局からは案を絞り込みたいというお話もありましたので、出来ればその方向が良いと思いますが、今日の議論をお伺いしていると、どれかの案に絞るような状況にはないのかと思います。どの案もそれぞれ良し悪しあり、従来計画も良いのではないかという再評価の意見もありますので、6つの案をそれぞれ比べてみると、案1、案2、従来計画あたりは事業費が大きいという事があり、案3、案4は踏切等についての懸念があり、案5もいくつか懸念が出されています。また一方で、慌てずに考えても良いのではないかというご意見もありましたし、駅舎は触らない事にして、周辺の賑わいを生み出すという方向で取り組んではどうかというご意見もありましたので、それらを含めて本日時点で最終的な結論としてどうするか。改めてご意見を伺えればと思いますが、各案何らかの問題点があるという事なので、克服方法のご提案がもしあれば、それも含めてまた考えたいと思いますが、この6案プラス6案に対する改善案、それから、慌てずにゆっくり考える若しくは駅舎をそれ程触らずに周辺の賑わいに重点を置いて、それも一つの案に加える形で改

めて考えてみる手もあるとは思いますが、今日の結論について、改めてもう一度ご意見があれば伺いたいと思います。

委員等) 中の広場に高校生が列車待ちのために図書室やくつろげる場所、待合場所が記載してありますが、遠いので利用し難いのではないかと思います。この広場を活用する事自体は良いのですが、私の思いとしては、複合施設を含む自由通路の幅を広くしておけば高校生がくつろげる場所や図書室も含めて自由通路上に複合施設としてある方が、駅も橋上にあつて賑わう。お年寄りも市民バスのバス待ちのために示し合わせて談笑頂けるし、老若男女がくつろげる、そういう大型自由通路が良いと思います。ですから、1案で広場整備を後回しとするというような案を提案致します。

会長) ありがとうございます。今のようなご意見もありましたように、積極的に取り組むべきだという視点からのご意見もございますし、全体の計画にかなり期待をするという声もありましたので、前向きな方向で是非議論して行けたら良いとは思いますが、しかし、具体的にどれが良いかという事については、皆さんのご意見もそれぞれのお立場から分かれている状況だと思いますので、全ての問題点を克服した案というのは、まだ見つかっていないという事になるかと思います。それからもう一方で、ゆっくり考えていくとか、駅舎は触らないでまずは駅周辺の賑わい作りに取り組んで行くようなご意見、それは恐らく市の財政状況等も含めて考えれば、すぐに取り組める一番現実的な考え方という事で提示があったと思いますし、そのような発想も一つの大きな見識だと思います。どれか一つ必ず選ばなければいけないのか、或いはそうではない選択肢も含めて考えるという事は充分あると思いますので、改めて検討してみる事で今日の会議を結びたいと思いますけれども、如何でしょうか。では改めて、委員の皆さんに是非お願いしたいと思っておりますのは、これを克服するための方法、アイデア等がありましたら是非お知らせ頂けたらと思いますし、一方、だからといって何もしないでこの協議会を終わるといような事は市民の期待にも応えなければいけませんので、極力コストを抑えたまま町の賑わいに繋がるような工夫を提案していった方が良いと思いますので、その辺りに重点を置いて進めていく方向もあると思います。今日は具体的で非常に活発な意見を頂きました。華々しくやる事だけが計画ではありませんので、落ち着いて町の将来にとって良い方向に行く事をじっくりと考えていくという事も一つの良い結論ではない

かと思いますので、沢山のご意見を頂きまして大変有り難かったと思  
いますし、引き続き議論を続けて行ければと思います。それでは協議事項  
はこれで終わり、事務局の方にお返しします。

事務局) 有難うございました。本日、周辺の賑わい作りをまず先に考えていく  
という新しいご提案も頂きましたので、事務局の方でもその様な案も検  
討しながら、今後、また提案させて頂きたいと思います。来年度になり  
ますが、今年の夏までに基本構想の策定を目指していましたが、色々な  
案も出ました事から、スケジュールも見直しながら今後進めて行きたい  
と考えております。本日の会議はこれで終了させて頂きたいと思  
います。本日は誠にありがとうございました。今後共宜しくお願い致します。